

平成22年3月



文化財愛護シンボルマーク

米沢市文化財年報

No. 22

米沢市教育委員会



▲ 市指定記念物「吾妻の白猿」チッチ

〈写真提供 白猿会事務局〉

上の写真は、平成21年に誕生したメスの白猿です。平成22年2月15日号の広報で愛称を募集したところ46件の応募がありました。審査の結果「チッチ」と決定しました。

現在、吾妻の白猿は昭和49年の調査開始から20頭目を数えますが、同時期に5頭（チッチを含む）の生存は初めてです。

埋 蔵 文 化 財 事 業

本年度の埋蔵文化財に関する発掘届及び分布調査の依頼件数は、平成22年2月28日現在で37件です。分布調査によって発掘調査を実施した遺跡は2箇所でした。

○米沢城本丸跡「米沢市丸の内一丁目地内」

当遺跡は、参道の舗装工事に伴うものであり、平成21年4月6日～同年4月10日の期間で実施しました。調査箇所は、北西部の角から旧博物館北側及び北東の場所にあたります。

調査の結果、本丸の通路に相当する箇所より明瞭な版築層が確認されています。版築層の厚さは65cmで、粘土と微砂質土を交互に重ね合わせる版築工法で、地盤の強化を目的にしたものと推測されます。

米沢城は、現存する上杉時代の絵図面から判断されますが、それ以前については諸説があり、起源については明かになっていません。これまでの発掘調査の成果からは、奈良時代から中世にかけての集落の存在が確認されていますが、城の創建に関わる資料は得られていません。

○川井平館南・川井平館北遺跡（大字竹井地内）

上郷小学校の建て替え工事に伴うものであり、平成21年7月1日～同年8月31日の期間で実施しました。調査箇所は、南方はグラウンドが中心であり、北方は校舎玄関口の駐車場にあたる箇所です。

遺物は、南方の調査区から近世以降の陶磁器が多く出土しています。遺構は溝状遺構と柱穴が確認されました。中世の遺構としては、柱穴が4基で西方向に延びる柵跡と想定しています。

北方の調査区からは、現在の道路に沿った形で柱穴群が確認されました。精査の結果、板塀を構成する支柱で、年代は小学校の創建期と判断されます。

○東部地区の分布調査

平成20年度から開始した戸塚山古墳群の実態把握の確認調査は、昨年度に引き続き、金ヶ崎古墳群と山崎古墳群を実施しました。今年度からは、専門的な有職者の委員による戸塚山古墳群調査検討委員会を設置し、意見や指導をいただきながら遺跡の保存、活用を図っています。

金ヶ崎古墳群は、M23・34・35号墳の3基についてトレンチ調査を中心に平成21年5月7日～同年6月29日の期間で実施しました。その結果、M23・35号墳は終末期の横穴式石室墳と判明しました。M34号墳は、後に中世の墳墓に造り変えた例の少ない形態であることが確認されています。

戸塚山の北東端部に位置する山崎古墳群では、M 179 号墳についての調査を実施しました。

以前に盗掘された箇所を中心に調査を進めた結果、予想を超える盗掘範囲であることが判明しました。出土した遺物から、古墳時代中期の6世紀初頭の円墳で主体部は木棺直葬と推測されます。



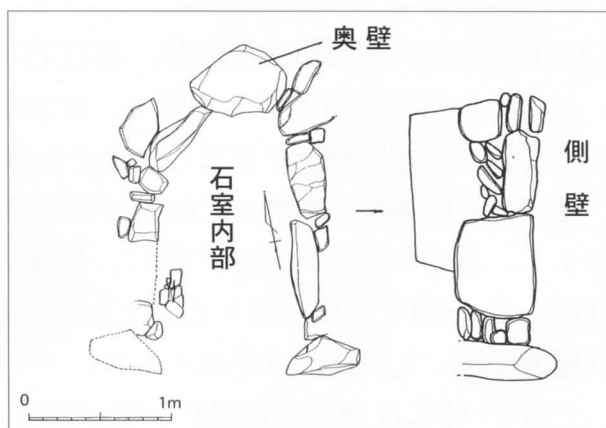
▲公共工事に伴う分布調査（梓山地区）



▲宅地開発に伴う分布調査（広幡地区）



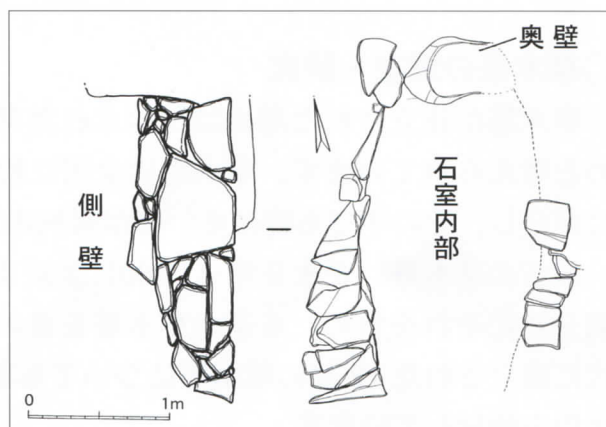
▲戸塚山金ヶ崎古墳群M23号墳



▲←同実測図



▲戸塚山金ヶ崎古墳群M35号墳



▲←実測図

一 般 文 化 財 事 業

○国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存整備事業

国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡（普門院・神社）は昭和10年に米沢藩9代藩主上杉治憲（鷹山）の師細井平洲を迎えた史跡として国の指定を受けています。史跡は長年の降雪や老朽化の影響で、建物が急速に劣化したことにより、保存管理計画策定報告書を作成し、その計画に沿って修理を実施しています。平成20年度には羽黒神社のうち、保存小屋・事務所等の設置及び素屋根設置・本殿解体等の事業を実施し、平成21年度には解体工事を受けて、木部の補修や組立等の保存修理を中心に進めています。

○県指定天然記念物（山上の大クワ）管理業務

昭和27年に県指定になった大字三沢にある山上の大クワにおいて、猿害防止の電牧ネット張替、枯枝除去、除排雪の業務を実施しました。

山上の大クワの存在する場所は山上地区の丘陵山麓に面した豪雪地帯にあたり、通常よりも劣化が進行したことを受けて、断線や漏電事故の可能性を考慮して、張替えを実施しました。

○市指定史跡（戸塚山古墳群、直江石堤）の草刈、雑木伐採業務

戸塚山古墳群は県内最大規模で、確認調査、地域文化の解明や重要遺跡の保存活用を図ること、観光資源であることなどを考慮し、草刈、雑木伐採を実施しました。

直江石堤は現在、1.2kmにわたって石積みが残り、昭和61年に米沢市が史跡としています。橋の架け替え工事に際し、石堤の一部を切り崩したところ、堤の中心部から直径1mを越す巨石が次々と出土したことから、当時の米沢藩における治水対策が重要施策であったことがうかがえます。

平成21年にNHKの大河ドラマ「天地人」が放送されたことも大きく影響し、観光客の増加を考慮し、草刈や雑木伐採を実施しました。

○草木塔の調査・研究

草木塔が建立された理由は伐採された草や木に対する敬意や感謝の気持ちを表すためと考えられています。草木塔は全国に約170基建立され、その半数以上が置賜地区に存在し、その中でも特に多いのが米沢市です。

最古の草木塔は安永9年（1780）米沢市田沢地区（塩地平）とされ、米沢市では平成9年にそれを含めた5基の草木塔を市の有形民俗文化財に指定しています。江戸時代に建立された12基の草木塔についても調査、研究を進めており、今後一括した保存活用を検討しています。



▲上杉治憲敬師郊迎跡（羽黒神社）



▲山上の大クワ（全景）



▲戸塚山古墳群（全景）



▲直江石堤（河岸西側）



▲草木塔（塩地平の草木塔 1780 年建立）



▲草木塔（上屋敷の草木塔 1800 年建立）

区 分	平成 21 年度の重点	平成 21 年度の主な事業報告
1 文化財共通	○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催	「米沢市文化財年報」No.22 の発行 平成 21 年度米沢市文化財保護審議会の開催 (第 1 回目 H21.7.15 第 2 回目 H22.3.24)
2 一般文化財	○文化財の調査 ○文化財の保護 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民族文化財後継者の促進	文化財保護審議会の委員による米沢市文化財総合調査の実施 特別天然記念物「カモシカ」の保護 市指定天然記念物「ホタル」及び市指定天然記念物「吾妻の白猿」保護調査 文化財防火デーの趣旨に則り県指定文化財を収納する「千眼寺」の防火訓練及び史跡上杉治憲敬師郊迎跡「普門院」、登録文化財「上杉記念館」における消防設備点検の実施 国指定史跡の管理に係わる補助 県指定天然記念物「山上の大クワ」猿害防止ネットの修復 史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存修理の継続（2 年目） 説明板の整備 国指定史跡「一ノ坂遺跡」並びに市指定史跡「戸塚山古墳群」、「谷地川原堤防（直江石堤）」等の環境整備の実施 県指定無形民族文化財「梓山獅子踊」保存会への補助
3 埋蔵文化財	○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集と周知 ○報告書の作成	米沢城本丸跡、川井平館南・川井平館北遺跡の発掘調査 東部地区（戸塚山）の詳細分布調査 開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査の実施 米沢市埋蔵文化財調査報告書第 97 ～ 99 集の作成

発行 米沢市教育委員会
〒 992-0012 米沢市金池三丁目 1 番 14 号
教育管理部文化課 文化財担当
TEL 0238-21-6111 内線 7530, 7531
FAX 0238-21-6020